

千寿の郷 かわら版

介護老人保健施設 千寿の郷

足立区柳原2-33-6

TEL 03-3870-4621

FAX 03-3870-5228

2007年10月10日第102号

今年も残すところ2ヶ月を切りました。

11月といえば別名「霜月」。霜が降りるほどの寒い季節と言われている様に、あの猛暑が嘘だったかの様に、朝の寒さが増してきました。立冬を過ぎ、少しずつ冬の気配が近づくにつれて、木々の紅葉も色鮮やかになり始めています。千寿の郷でも、利用者様が一枚上着をはおり、秋の到来を彩ってくれています。

しかし、上着だけではなく、口元にマスクをしている方も見かけるようになりました。寒さと共に空気が乾燥し始め、風邪が流行するこの季節。手洗い・うがいを心掛け、自分の鼻も紅葉の様に赤く染まらぬよう気を付けながら、冬の足音を静かに感じている今日この頃です。



秋の外出企画!

去ること10月3日(水)、約8ヶ月振りとなる外出企画を決行。

利用者様6名と一緒に、前回大好評だった“南千住LALAテラス”へ行ってきました。腹ごしらえは前回同様「くら寿司」。意気込んでマグロを全種類召し上がった利用者様がいたとか、いないとか…。職員も一緒になって頬ばっていたというからおもしろいですね。もちろんお腹いっぱい後は、お決まりの「100円ショップダイソー」にて買い物。あまりの広さに驚いていた方やしっかり買うものを決めていた方、お菓子を買込む方…それぞれ楽しまれていたようです。「是非次回も!」と熱望の声もあがり、今後の大好評企画になりつつあるようです。乞うご期待!!



<鍋会&忘年会> 12月20日(木)

今年も恒例の忘年会を兼ねた鍋会を行います。

ご利用者様、職員共々で温かい鍋をつつきながら、今年一年間を振り返っていきたいと思います。

「今月の格言」

身のまわりにある愉快なことを考えるのが幸福の第一歩

エバレット

《今月の行事予定》

- 10日(土) 菊呂会
- 13日(火) 新舞踊
- 21日(水) あめんぼサークル
- 24日(土) 香雪会
- 27日(火) 居酒屋
- 毎週木曜日、コーヒーサービス
- 第一・第三金曜日、書道

秋来れば 味覚味わう

通所利用者 鈴木 三郎様(柳原)

紅葉の 彩り見えぬ

通所利用者 久保田 珠恵様

下町の 家並の前に

通所利用者 西岡 道子様

木の葉落ち 日、一日と

入所利用者 平田 キヨ様

寒くなる

コスモスの鉢

もどかしさ

日々楽し

秋の川柳・俳句

秋の祭典！「柳原健康まつり」開催される！！

10月28日（日）台風一過の秋晴れの下、柳原リハビリテーション病院にて、“柳原健康まつり”が開催されました。

千寿の郷は、毎年お馴染みの「フランクフルト店」を出店しました。開催をつげる太鼓の音が鳴り渡ると同時に販売開始！！焼く人・売る人・呼び込む人・食べる人（サクラ？）など店員になりきった職員達は大忙し。普段は千寿の郷でしかお会いできないご利用者やそのご家族など多くの方に青空の下ご来店いただき、大はりきり！！の店員（職員）達。用意した300本は、午前中で見事完売しました！！

おいしい食べ物と広がる笑顔にお腹も心もいっぱいになった1日でした。

ディケア・北島由美枝 事務・長谷川康子



食欲の秋！今年も恒例、バーベキュー！！

「食欲の秋」を味わうイベント、千寿の郷バーベキューが今年も入所・通所で開催されました。入所は10月16日、18日の2日間、通所は21～27日の1週間と料理長自ら腕をふるった豪華料理で利用者様をもてなしました。色々な食材を普段とは違った雰囲気の中で召し上がり、「ホントおいしかったわ」と嬉しい感想や、「あなたも食べなさいよ」といった気遣いまでいただき、大盛況の中、無事終わることができました。



晴耕雨読

日本人が初めてお茶に出会ったのは、さかのぼること鎌倉時代。中国の唐へ留学していた高僧達を持ち帰ったお茶の木を植えたのが始まりだそうです。

最初は薬として重宝されたお茶は次第に文化として独特のスタイルを築いてきました。「お茶の間」というお茶が家族の心をつむいでいった場所は長い歴史を経て生まれたのですね。時の流れがいまへと運んでくれたお茶を飲むとき、私たちは大げさではなく、脈々と伝承されてきた日本の心を感じることにと思います。これから特に、お茶のおいしい季節が到来します。千寿の郷に来所されたらまずはお茶を一杯、馴染みの方と召し上がってみてくださいね。（ディケア 真久 雄一）